

平成 26 年 4 月 30 日
株式会社日本政策投資銀行
株式会社岩手銀行

東日本大震災復興ファンドによる 森下水産(株)への融資実施について

株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長：橋本徹、以下「DBJ」という。）と株式会社岩手銀行（代表取締役頭取：高橋真裕、以下「岩手銀行」という。）が共同で出資する東日本大震災復興ファンド「岩手元気いっぱい投資事業有限責任組合」（以下「当ファンド」という。）は、森下水産株式会社（本社：岩手県大船渡市、代表取締役社長：森下幹生、以下「当社」という。）に対して 5 千万円の融資を実施しました。

当ファンドは、地域事情に精通するとともに被災地域に広範なネットワークを有する岩手銀行と投融資一体型の金融サービスを提供する DBJ の連携のもと、東日本大震災の被災企業に対する復興資金の供与を通じ、被災地域の早期復興支援を図るため平成 23 年 8 月に設立されました。

当社は、昭和 57 年 8 月に設立された水産加工メーカーです。大船渡市内の工場ですべて HACCP(注)認定を取得しており、大手水産加工メーカーが要求する高い品質レベルを満たす衛生管理、生産技術に定評があります。

東日本大震災では、本社工場が全壊するなど大きな被害を受けましたが、平成 23 年 7 月には一部生産を再開するなど早期の復旧を果たし、現在では震災前の生産能力を回復しています。

今後は、三陸の幸を使用した、加工度の高いより高付加価値の製品を提供すべく、新工場の建設が進められており、雇用を含めた地域経済の活性化、ひいては地域経済の復興へのさらなる貢献が期待されます。

本件は、当社のこのような取り組みを支援すべく、安定的な長期資金を供給するものであり、当ファンドの趣旨に合致するものとして実施されたものです。

DBJと岩手銀行は、引き続き、当ファンドによる被災企業への投融資等を通じ、被災地域の復興を支援してまいります。

(注)「HACCP」：「Hazard Analysis Critical Control Point」の略。食品の原料の受け入れから製造・出荷までのすべての工程において、危害の発生を防止するための重要ポイントを継続的に監視・記録する衛生管理手法のこと（厚生労働省HPより引用）。

【お問い合わせ先】

(株)日本政策投資銀行 東北支店 企画調査課 電話番号 022-227-8182

(株)岩手銀行 営業統括部 企画推進グループ 電話番号 019-624-8667

※なお、本件発表は、東北電力記者クラブ（仙台市青葉区）および岩手県政記者クラブ（盛岡市）に資料配布を行っております。

News Release

【ファンドの概要】

- (1)名 称 : 岩手元気いっぱい投資事業有限責任組合
- (2)規 模 : 50億円 (当初)
- (3)設 立 : 平成23年8月3日
- (4)出資者 : 無限責任組合員 (GP) : (株)東北復興パートナーズ
有限責任組合員 (LP) : DBJ、岩手銀行
- (5)期 間 : 投資期間3年、存続期間10年 (但し、必要があれば、投資期間で2年以内、存続期間で5年以内の延長を行うこともあります。)

【ファンドのスキーム図】

